

デング熱 と 蚊（虫刺され） から身を 守りましょう！

蚊の侵入・繁殖を防ぐ

- ・網戸を使いましょう。
- ・バケツ、ペットの皿、花瓶、タイヤ、缶などに溜まっている水を捨てましょう。



- ・貯水槽には蓋をするか、蚊の成虫が入り込めないような網で覆うようにしましょう。
- ・排水できないような導管がある場合は、グッピーなどの小さな魚を放流することによって蚊の幼虫の繁殖を防ぐ事ができます。

外出するときには

- ・虫除け剤（特にディート[DEET]入りのものが良い）を使用しましょう。使用説明書に従って繰り返し塗布するのが効果的です。
- ・できるだけ肌を露出しないよう、長袖・長ズボン・肌が露出しない靴・帽子を身につけるようにしましょう。



デング熱について

- ・デング熱の症状
- ・具合が悪くなったらどうする？
- ・どのように診断されるか
- ・どのように治療されるか
- ・デング熱に罹らないためには？



ネッタイシマカ



ヒトスジシマカ

*写真提供 国立感染症研究所昆虫医科学部

デング熱を防ぐ

- ・最も効果的にデング熱を防ぐ方法は、蚊に刺されない事です。
- ・日本にはデング熱の主たる媒介蚊の**ネッタイシマカ**は常在していませんが、日本の青森県以南には媒介能力のある**ヒトスジシマカ**が生息しています。
- ・このため、流行地でウイルスに感染した人が国内で蚊に刺され、その蚊がたまたま他の人を吸血すると感染する可能性はあります。
- ・ヒトスジシマカは日中、屋外で活動性が高く、活動範囲は50～100メートル程度です。国内の活動時期は概ね5月中旬～10月下旬頃までです。

デング熱にかかったら

- ・もしあなたがデング熱にかかった場合には、その後あなたを刺した蚊が他の家族などにデングウイルスを媒介してしまう可能性があります。
- ・熱が出るまでは蚊の侵入を防ぎ、エアコンの効いた部屋または蚊帳の中で、十分な休養をとりましょう。
- ・家の中に侵入した蚊は殺虫剤などで退治しましょう。

デング熱?

デング熱の
大部分は1週間程度
で回復します。

重症のデング熱の症状

熱が治まった後でも、下記の症状がある場合は**直ちに医療機関を受診して下さい。**

- ・強い腹痛と嘔吐の持続
- ・皮膚の赤い斑点や皮下出血が見られる。
- ・鼻出血や歯肉出血
- ・吐血や血便
- ・傾眠傾向や興奮状態
- ・皮膚が青白い、冷たい、冷たくて湿っぽい
- ・呼吸困難

Emergency



デング熱の診断

- ・血液からの病原体の検出、病原体蛋白の検出、病原体遺伝子の検出、抗体の検出などで行いますが、特定の医療機関においてのみ検査が可能です。

デング熱の症状

デングウイルスに感染した人の殆どが、軽度の症状または全く症状がありません。しかし、軽症のデング熱でも悪化する場合があります。例えば、デング熱患者の多い地域に旅行または住んでいて、2日~7日間の高熱があり、下記の項目が2項目以上当てはまる場合には、**保健所**または**総合安全衛生管理機構**に相談して下さい。

- ・発熱（38℃以上の発熱）
- ・頭痛、目の後ろ側の痛み
- ・筋肉痛、関節痛
- ・吐き気、嘔吐
- ・発疹
- ・原因不明の出血

脱水症に注意しましょう！

熱があるときには脱水症になりやすくなっています。発熱時には水・牛乳・ジュース・スープ・スポーツドリンクなど、できるだけ摂取するようにしましょう。

デング熱の治療

- ・デング熱に対する特別な治療法や予防のためのワクチンはなく、対症療法となります。
- ・軽症のデング熱では、十分な休養と水分摂取が中心になります。
- ・解熱剤ではアセトアミノフェンは使用できますが、アスピリンやイブプロフェンは使用できません（重篤な副作用発症の恐れ）。
- ・重症デング熱では医療機関での治療が必要です。